

平成 27 年 7 月 2 日 00228 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【武道館情報】

北見池川神楽記念演舞会が開催されます！

今週末となります 7 月 5 日(日)午後 1 時より、北見市武道館道場 2 を会場に、北見池川神楽保存会発足 10 周年記念演舞会が行われます。池川神楽とは、高知県吾川郡仁淀川町に伝わる民俗芸能で、池川神社大祭の秋の例祭(11 月 22 日)で奉納される神楽です。採物神楽の一種で、同社の社家・安部家を中心に継承されてきたもので、「神代神楽記」(1593)には、土佐の神楽としては最古のものと記されています。1980 年には国の重要無形民俗文化財にも指定された「土佐の神楽」のひとつです。

芸能は、池川神社拜殿の中の二間四方の四本桂に大榊を立て、注連縄を張ってそれに切抜紙を飾り、そこを舞台として演じられ、太鼓・小鼓・手拍子で囃子を奏します。曲目には宮祓い・悪魔祓・和卓舞【おしき】・神迎え・二天の舞など十二番があります。なかでも和卓舞・薙刀舞の舞振りには特色があり、最後に王神立の儀と呼ぶ太郎から五郎にいたる五神が五色の旗を立て、かけあい問答する一番が付加されています。日頃なかなか目にするのできない演舞をどうぞご覧ください。また当日は東陵公園が非常に混雑することが予想されますので公共交通機関などをご利用くださいます様ご協力ください。



平成27年度 北見まちづくりパワー支援補助事業

北見池川神楽保存会発足10周年記念演舞会

日時 平成27年7月5日(日)午後1時から
場所 北見市武道館(道場2)北見市東陵町27番地
東陵公園自由広場内 TEL:57-3824
入場料 無料(120kgの餅まきがあります・どなたでも入場できます 車椅子可)
主催 北見池川神楽保存会
後援 北見市・北見市教育委員会・北見池川神楽保存会を支える会
北海道新聞・経済の伝書鳩・北見文化連盟
連絡先 事務局 (長谷川 TEL:090-7053-5112)

連載 「武道宝鑑」 第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>

五、指導上の外的条件

○礼儀

柔道修行上の礼儀作法は、何所までも厳格なることを期せねばならぬ。師に対する礼、先輩に対する礼、後輩に対する礼、すべて举止動作言語の用い方の微に至るまで礼に外れる事のないよう、指導者は先ず自ら範を垂れることが必要である。兎角体力が旺盛で思想が未だ熟しないときに在っては、ややもすれば礼を外れ易いものである。殊に技漸く熟し来り技に於いて多少の自信がつくと、ようやく慢心を生じて、礼を紊れる事があり易い、これは、柔道修行者が陥り易い病弊であるから指導者は、この点に十分に注意を要する。これは一步を誤ると、とりかえしのつかぬような結果を見ることになるものゆえ、よくよく心しなければならぬ問題である。武道の修行に於いて、礼讓が缺けることがあっては、最早それは武道ではなくなってう。真に修行者を愛する指導者は、何所までも厳格に、礼を重んぜしめなければならぬ。

つづく